



2023年5月31日

各 位

会 社 名 澤 藤 電 機 株 式 会 社
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 井 上 雅 央
コ ー ド 番 号 6901 東 証 : ス タ ン ダ ー ド
問 合 せ 先 総 務 人 事 部 長 西 倉 透
(TEL. 0276-56-7320)

中長期経営計画～長期構想「チャレンジ2030」の策定について

当社（社長：井上 雅央）は、このほど『中長期経営計画～長期構想「チャレンジ2030」』を新たに策定しましたので、お知らせいたします。

当社を取巻く事業環境は、カーボンニュートラルや電動化等のエネルギー変換の動きが加速・拡大し、社会情勢などもめまぐるしく変わっており過去に例を見ない変化に直面しています。そのような中でも、永続的に社会に必要とされる企業であり続けるためには、長期的視野に立った経営計画が不可欠です。

『中長期経営計画～長期構想「チャレンジ2030」』では、当社が2030年に目指す姿とその実現に向けて、安心してチャレンジできる企業基盤を整え、環境戦略と財務戦略の二つの柱で事業ポートフォリオを変革し、企業として社会課題解決の一翼を担い続けていくことを示しております。

澤藤電機グループは、本経営計画で掲げる目指す姿の実現に向け、社員一人ひとりの意識・行動を変え、総力を結集し、社会に貢献できる企業であり続けます。

以 上

中長期経営計画 ～ 長期構想「チャレンジ2030」

当社が目指す将来の姿を、全てのステークホルダーと共有し共感いただくため、新たに策定しました。2050年のカーボンニュートラルに向け、働くモビリティである商用車・農建機などのメーカーやプロフェッショナルユーザーが抱える課題解決の一翼を担い続けることを存在意義とし、社員一人ひとりが意識・行動を変え、総力を結集し、魅力ある澤藤に進化します。

＜澤藤電機の存在意義＞

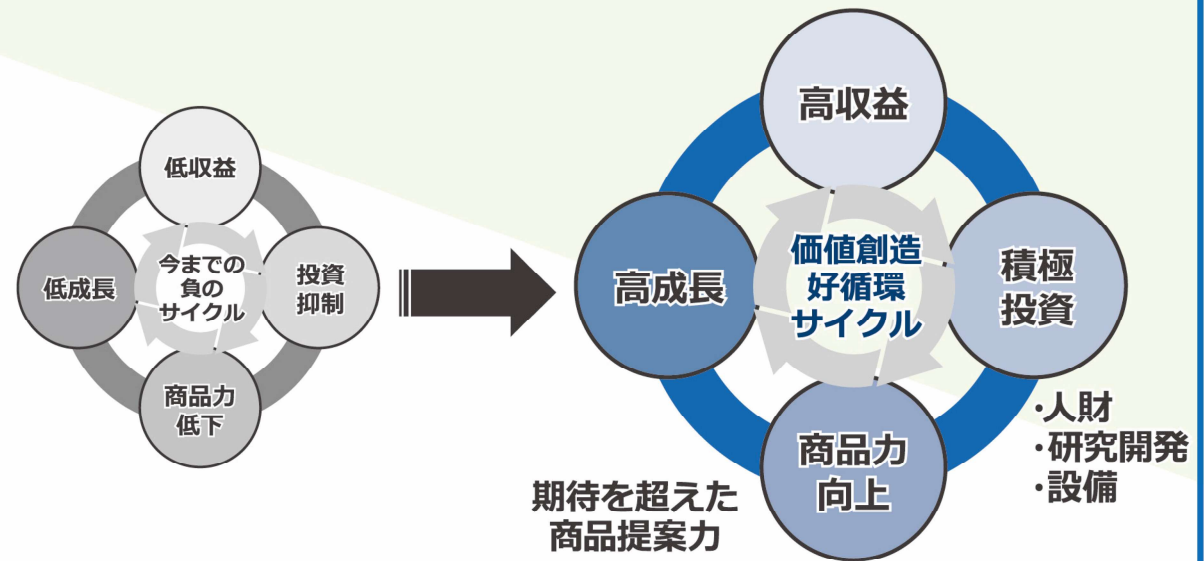
働くモビリティ社会の中で
課題解決の一翼を担い続ける



＜スローガン＞

エネルギー変換技術を進化させ、
世界で働くモビリティ/
プロフェッショナルユーザーの
困りごとを解決

意識・行動変革



一人ひとりが意識・行動を変え、総力を結集
自ら光り輝き、魅力ある澤藤に

サステナビリティ経営

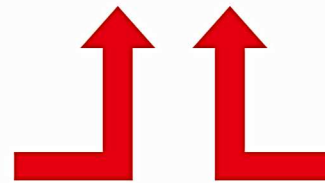
社員が安心してチャレンジできる企業基盤を整え、
環境戦略と財務戦略の二つの柱で、事業ポートフォリオを変革します。
働くモビリティ/プロフェッショナルユーザーの困りごと解決を通じて、
将来のカーボンニュートラル実現に貢献し、未永く存続する企業を目指します。

社会課題解決

環境戦略

価値創造による持続的な成長

- ・カーボンニュートラルに対応
- ・コア技術を進化させ困りごと解決



事業 ポートフォリオ 変革

財務戦略

財務健全化と収益構造改革

- ・スリムで筋肉質な経営基盤を確立

安心してチャレンジできる企業基盤

- ・人財育成など人的資本の強化
- ・揺るぎないガバナンス強化 (コンプライアンス、情報セキュリティなど)

安心してチャレンジできる企業基盤

風土改革の積極的な推進により、人的資本とガバナンスを強化します。
多様な社員が、健康で自己実現できる環境を整え、
コンプライアンスを徹底し、安心して誇りに思える会社づくりを進めます。

人的資本の強化

『一人ひとりが自己実現』

- ・学びと挑戦
- ・人権尊重
- ・健康



ガバナンスの強化

『安心して誇りに思える会社』

- ・コンプライアンスファースト
- ・情報セキュリティ強化
- ・社会貢献

環境戦略と財務戦略

澤藤電機のコアであるエネルギー変換技術を更に進化させ、環境改善に貢献する電動システムのグローバル展開を目指します。同時に、積極的な成長投資や在庫見直しなど、財務健全化も推進し、将来の社会課題解決に向け、事業ポートフォリオを変革します。

環境戦略

『電動化普及の大波に乗る』

- ・ コア技術の進化
- ・ 差別化による競争力の確保
- ・ グローバル展開

財務戦略

『財務の健康経営を実行』

- ・ 積極投資（人財・研究開発・設備）
- ・ 営業利益率の向上
- ・ 在庫適正化
- ・ 売掛金／買掛金バランス改善

優先取り組み課題と目標

中長期経営計画の実現に向け、サステナビリティ経営を加速するため、必要な優先取り組み課題と目指す姿、目標を設定しました。
 これらは、ESG及びSDGsの推進にも繋がります。
 全社員の総力を結集し、社会課題の解決に取り組みます。

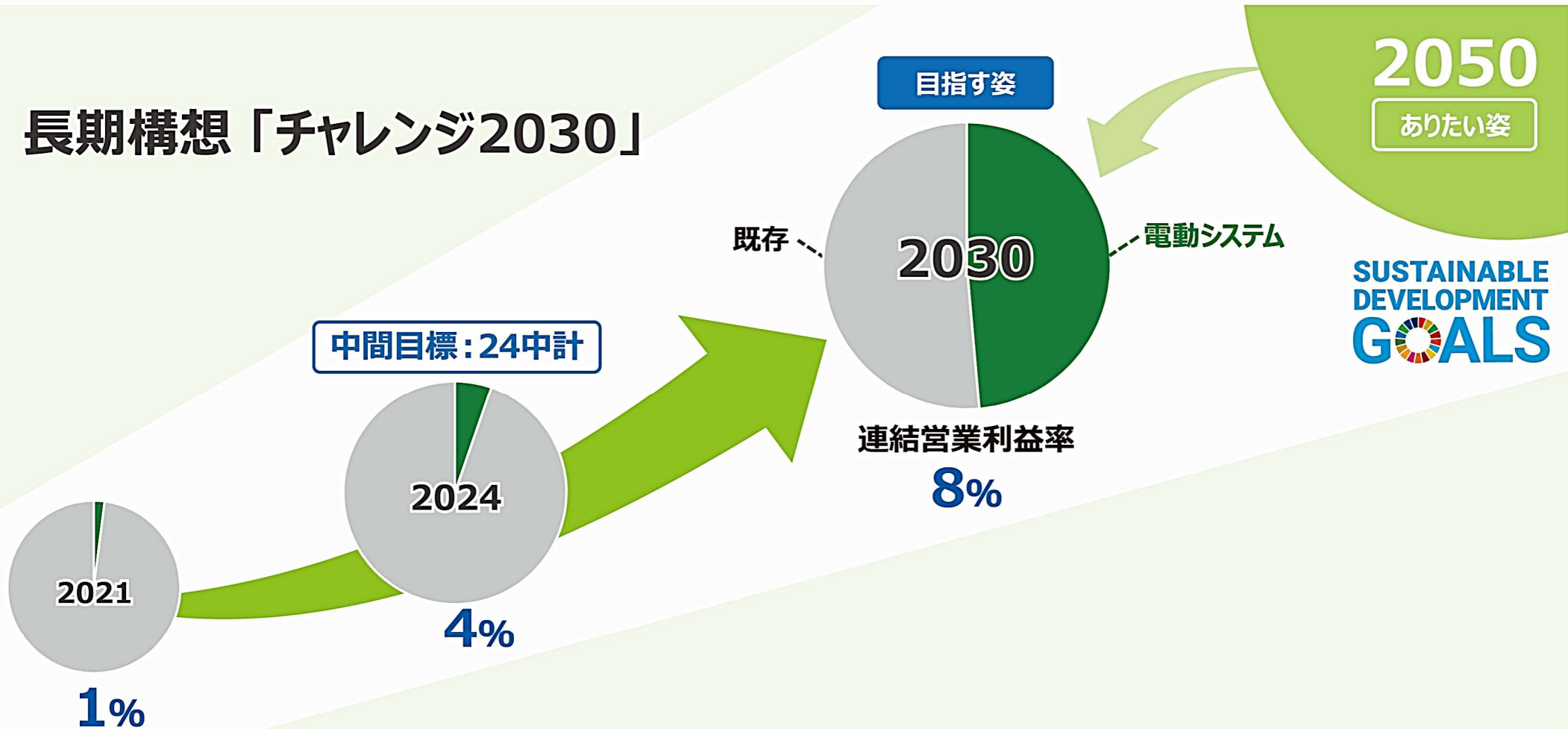
	取り組み課題*1	目指す姿*1	2030年度目標*2	SDGs
環境・財務	地球温暖化防止	<ul style="list-style-type: none"> 働くモビリティの電動化に貢献しCO₂を可能な限り削減 性能向上と環境負荷低減の両立する開発・設計を推進 生産活動や製品・サービスにおいて、地球環境の保護に努める継続的な改善を約束 お客様に喜んでいただける高品質な製品を提供 	2050年カーボンニュートラルに向け <ul style="list-style-type: none"> 企業活動におけるCO₂排出量の削減*3 2013年度比 ▲50% (▲48%) 電動システム製品普及 売上高 220億円 (18億円) 	
	環境負荷物質低減			
	大気汚染防止			
	資源有効利用			
	水資源の節約			
安心してチャレンジできる企業基盤	人財育成／人財活躍推進	<ul style="list-style-type: none"> 社員一人ひとりが安心して、健康で能力を最大限発揮できる職場環境づくりを推進 社員をはじめバリューチェーンなどを含むすべてのすべてのステークホルダーの人権を尊重した事業活動を行う 仕入先様と共に相互の発展・成長を目指し、環境問題、人権問題、コンプライアンス等に配慮した事業活動を行う 各国の法令を順守、安全保障を意識し、一人ひとりが高い倫理観をもって社会的責任を果たす 情報資産の保護に最善を尽くす 社会動向や外部環境変化、澤藤電機の企業風土を踏まえ、実効性のあるガバナンス体制へ進化させ、上記優先課題の目標達成を支える 	<ul style="list-style-type: none"> ワークエンゲージメント肯定回答率*4 70% (65%) 女性管理職比率 20% (3%) 従業員定着率 90%以上 (90%) 人権研修参加率 100% (100%) 重大災害 0件 (0件) 重大法令違反 0件 (0件) 重大セキュリティインシデント 0件 (0件) 	
	働き方改革／働きがい向上			
	人権尊重 持続可能な調達			
	健康／安全衛生			
	コンプライアンス			
	情報セキュリティ強化			
	ガバナンス			

*1. 継続中のESG課題やCSRなどの取り組みと目指していること *2. ()内、2024年度目標 *3. Scope 1 + 2 + 3 *4. 澤藤電機(株) 従業員の意識調査

2030年に目指す姿

強固な企業基盤構築と同時に、培ったコア技術を活かした環境対応商品と、財務健全化により、電動システムを主軸とした事業ポートフォリオに変革します。
この取り組みを通じ、2030年には連結営業利益率を8%に伸ばし、将来のカーボンニュートラル社会に欠かせない、世界のサワフジを目指します。

長期構想「チャレンジ2030」



企業基盤を固め、事業ポートフォリオを変革し、世界のサワフジに